

東日本大震災

～平成24年度被災者支援活動～



福島県



八重たん

平成25年12月15日(日)
日本歯科衛生士会災害支援フォーラム

福島県歯科衛生士会
会長 菅野 洋子

被災者支援総数 平成23年3月～平成25年11月

月日	事業名	支援回数	支援歯科衛生士数	支援被災者数	備考
H23年 3月～9月	ボランティア (一時避難所等)	※112	※253	※1802	把握分のみ
H23年10月～ H24年6月	日衛助成事業 「被災者口腔ケア支援事業」	207	255	2333	
H24年7月～ H25年3月	福島県受託事業 「被災者口腔ケア支援事業」	325	485	3445	
H24年 10月～12月	日衛助成事業 「通所介護施設口腔ケア支援事業」	15	63	448	
H25年 6月～11月現在	福島県受託事業 「被災者口腔ケア支援事業」	135	257	1799	
合計		794	1313	9827	



福島県受託事業 「被災者口腔ケア支援事業」



【目的】

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故により被災し、仮設住宅等において生活している被災者等を対象に、被災市町村や保健福祉事務所等の要請に応じ、口腔内の健康状態の把握や二次的健康問題、咀嚼機能の低下予防などの口腔ケア援助、受診勧奨、歯科健康相談等を行うことにより、被災者の口腔保健並びに健康増進を支援することを目的とする。

【実施主体】

一般社団法人福島県歯科衛生士会・福島県

【活動実施期間】

平成24年6月1日から平成25年3月29日までとする。

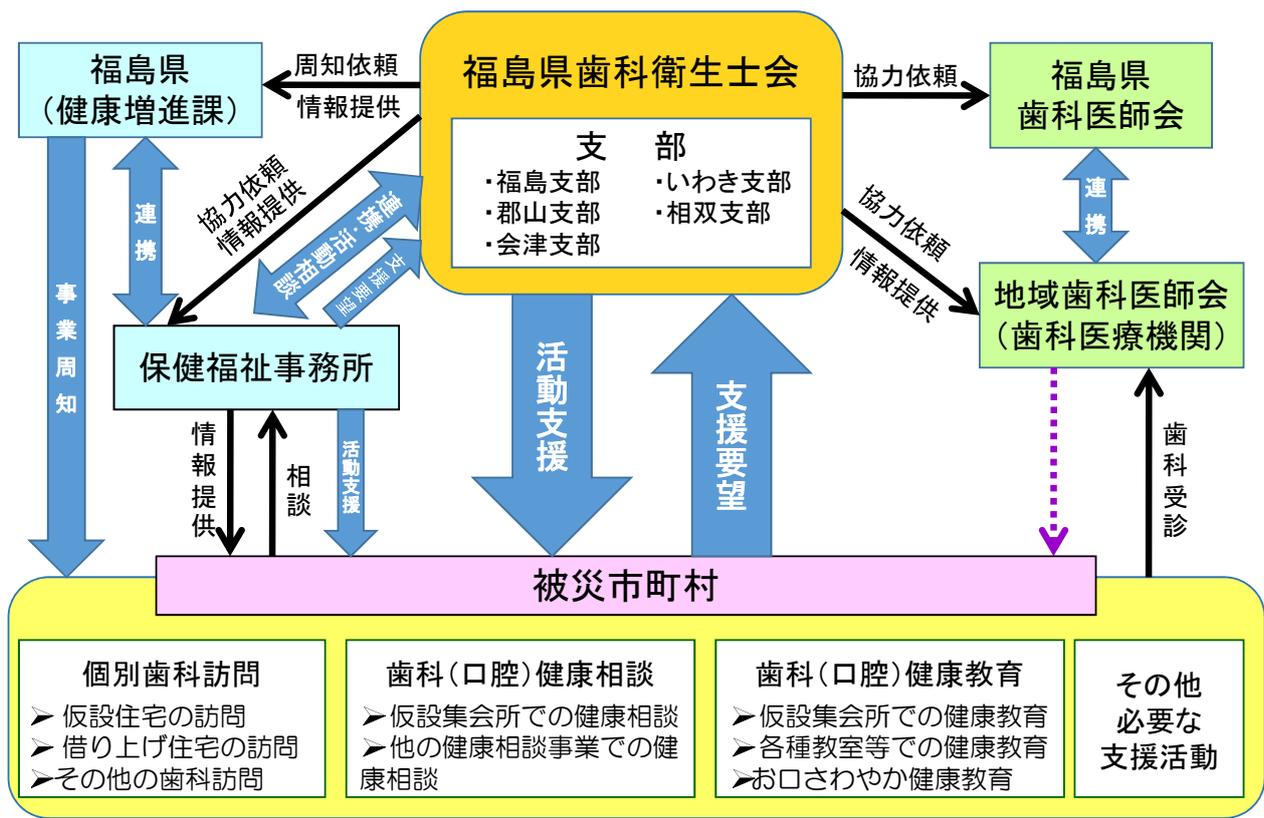
【実施体制】

福島県歯科衛生士会員に本事業の従事希望登録の案内を送付し、事業従事登録申し込みがあった会員を中心に、県保健福祉事務所、被災市町村及び地域歯科医師会等と連携を図りながら実施する。

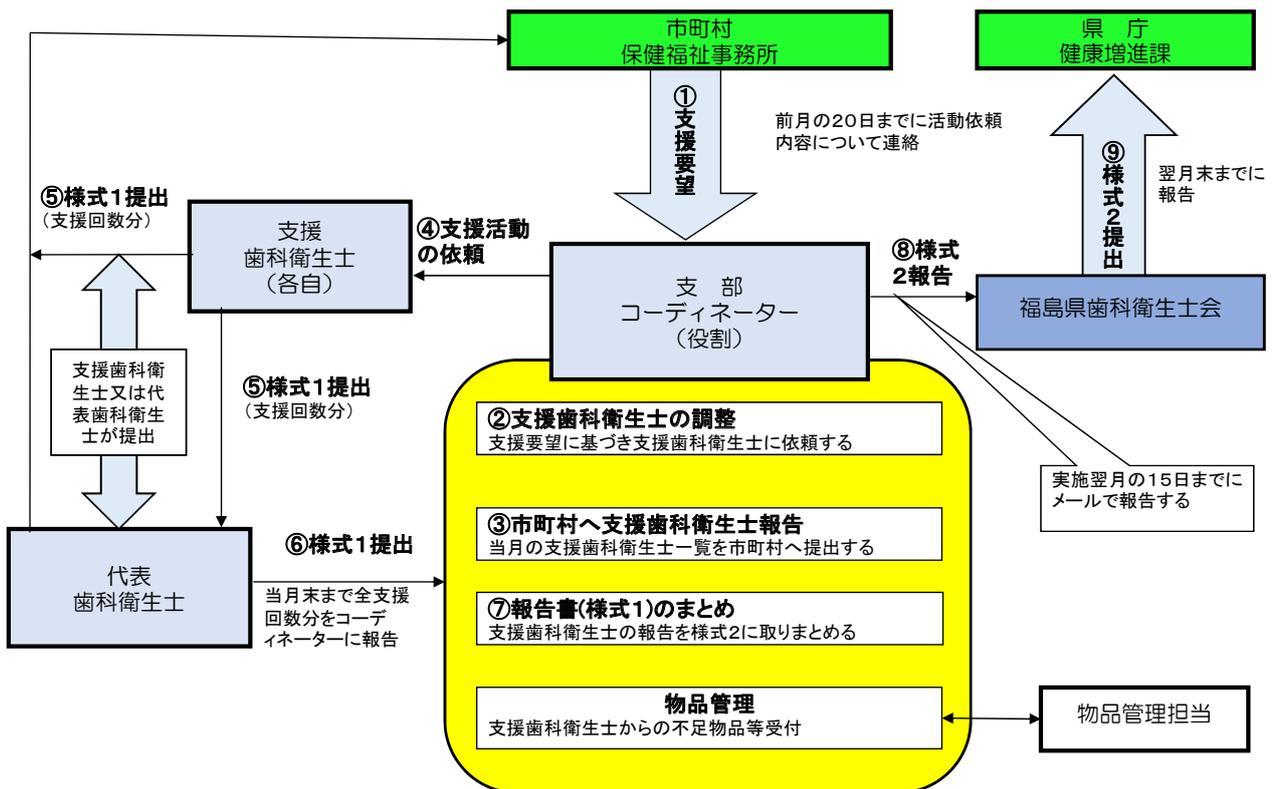
【事業内容】

1. 被災市町村の歯科保健支援ニーズの把握
県保健福祉事務所等の協力を得ながら、別紙支援要望書に基づき被災市町村の歯科保健支援ニーズを把握する。
2. 被災者等に対する歯科健康相談、歯科保健指導等の実施
被災市町村及び被災市町村の障がい者施設等からの要望書に基づき、被災市町村及び関係機関等と事前に打合せ等を行い、円滑に支援ができるようにする。
 - ① 仮設住宅集会所等での歯科健康相談、歯科保健指導等の実施
 - ② 仮設住宅等へ訪問し口腔内状況の確認や歯科保健指導、歯科健康相談等の実施
 - ③ 被災市町村障がい者施設等での要支援者（健康ハイリスク者）等に対する口腔ケア支援活動の実施
 - ④ 上記歯科健康相談や歯科保健指導等から把握された健康課題等の被災市町村等への報告等の実施
3. 被災者口腔ケア支援事業打合会の開催
支援活動を円滑に実施するために、関係歯科衛生士等による事業打合会を開催する。

「被災者口腔ケア支援事業」活動体制



被災者口腔ケア支援事業の流れ



支援要望書

項目	希望内容	概ねの回数(調整可能です)
1 個別歯科訪問	ア 仮設住宅の訪問 イ 借上げ住宅の訪問 ウ その他の歯科訪問 ()	・ 随時(歯科の訪問ケースが出た時) ・ 月____回程度 ・ その他
2 歯科(口腔)健康相談	ア 仮設集会所での健康相談 イ 他の健康相談事業で ウ その他 ()	・ 月____回程度 ・ その他
3 歯科(口腔)健康教育	ア 仮設集会所での健康教育 イ 各種教室等での健康教育 ウ その他 ()	・ 月____回程度 ・ その他
4 お口さわやか健康教育(4回コースシリーズ) ※福島県歯科衛生士会提案プログラム	ア 仮設集会所で実施 イ その他で実施 ①お口を元気にするために ②お口の病気と全身の病気の関係 ③いい息して楽しくおしゃべり ④むせずにおいしく食べるために	例) 月1回1コースで4ヶ月で終了 ・ 月____回程度
5 その他 ※上記以外に希望があればお書きください。		

主な活動	実施内容(具体例)
個別歯科訪問	●市町村より訪問ケース、訪問箇所等ご連絡いただき、各世帯へ訪問して個々の状況に応じた歯科保健指導を実施 ・ 妊産婦歯科保健指導 ・ 乳幼児歯科保健指導 ・ 口腔内観察+口腔清掃指導 ・ 要援護高齢者、障がい児者等への口腔ケア(実践) ・ 義歯の清掃方法、管理支援 ・ 誤嚥性肺炎予防の指導 ・ お口の体操、口腔リハビリ指導 ・ 歯科受診勧奨、歯科保健医療に関する情報提供
歯科(口腔)健康相談	●仮設住宅集会所で実施されている交流サロンや保健事業等に合わせ、歯科(口腔)健康相談の実施を支援 ・ 特定健診結果説明会時の歯科相談の実施支援 ・ 乳幼児健診、子育てサロン等での歯科健康相談の実施
歯科(口腔)健康教育	●仮設住宅集会所で実施されている交流サロンや介護予防教室、健康相談等の機会に合わせ、集団歯科指導の実施を支援 ・ 健康口体操の実施 ・ 歯科講話(歯周病予防、誤嚥性肺炎予防) ・ 口腔ケア、義歯の手入れの実技指導 ・ 糖尿病予防教室で歯科指導を実施 ●仮設住宅集会所で実施されている交流サロン等の機会に合わせた継続的な「お口さわやかサロン(1クール5回コース)」の企画、実施支援 ＜お口さわやかサロンの基本的内容＞ ①お口を元気にするために ②お口の病気と全身の病気の関係 ③いい息して楽しくおしゃべり ④むせずにおいしく食べるために ⑤おいしく食べて、楽しくおしゃべりするために ※1回/月で4~5カ月で実施 基本的内容等をベースに地域に合わせて調整実施
障がい者施設、高齢者福祉施設等の口腔ケア支援活動	●被災市町村の障がい者、高齢者福祉施設等を訪問し、入通所者の個別状況に応じて口腔ケアの実施を支援 ・ 入、通所者の口腔の健康状態の実態把握や評価支援 ・ プクプクうがいや口腔ケア指導の実施 ・ 入、通所者への口腔ケア(実践) ・ 施設職員への口腔ケア実施方法等の指導

様式第1号

「被災者口腔ケア支援事業」支援活動実施報告書

【依頼先:]

社団法人福島県歯科衛生士会 支援活動実施日:平成 年 月 日
報告者名: 歯科衛生士名:.....

歯科衛生士からのコメント



平成 年 月 日

1 仮設住宅・借上住宅等への個別訪問

実施場所	時間	実施人数	実施内容	DH名	他スタッフ
《備考》					

2 集会所等での活動

実施場所	時間	実施人数	実施内容	DH名	他スタッフ
《備考》					

【お口のケア用品について】



	第1回	第2回	第3回
歯ブラシ	良・交換	良・交換	良・交換

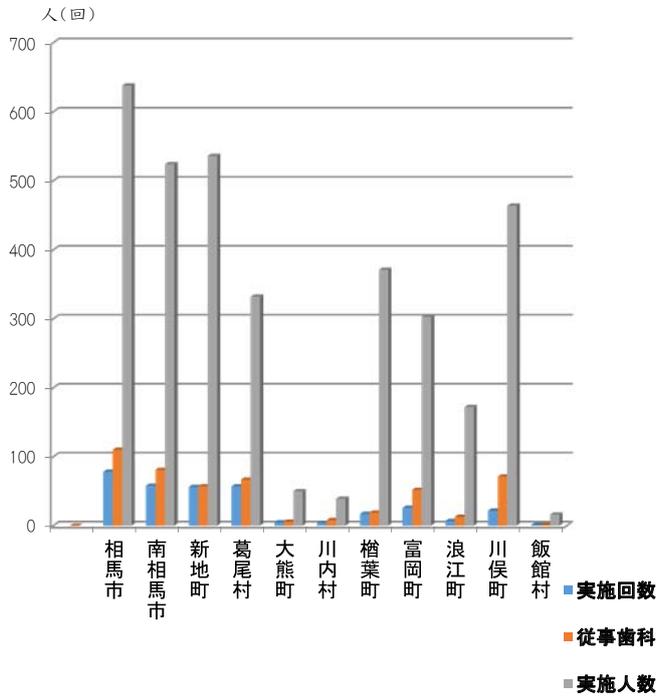
一般社団法人福島県歯科衛生士会
担当者歯科衛生士:.....

様式第2号 (1月毎に支援活動実績をとりまとめ、翌月末までに県庁健康増進課に報告する)

「被災者口腔ケア支援事業」支援活動実績報告書 【 】月分

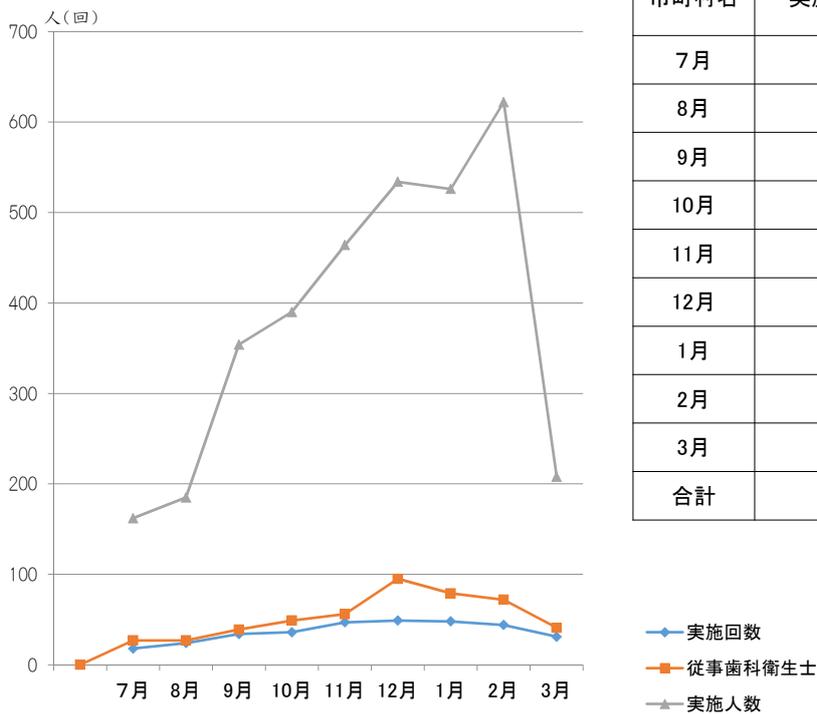
実施日時	依頼先(市町村名)	支援活動場所(市町村名)	実施内容	実施人員(主な対象・延べ人数)	支援活動実施者(氏名)

1. 被災市町村等への市町村別支援状況



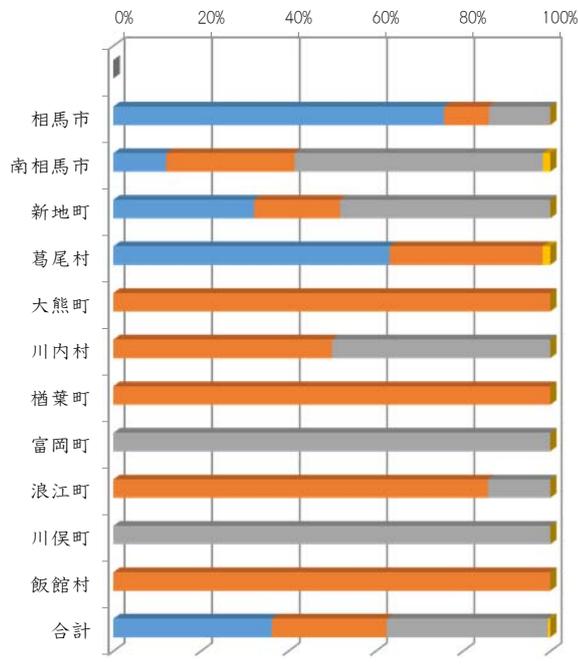
市町村名	実施回数	従事歯科衛生士 延べ数	実施人数
相馬市	78	110	638
南相馬市	58	81	524
新地町	56	57	536
葛尾村	57	67	332
大熊町	5	6	50
川内村	4	8	39
楡葉町	17	19	371
富岡町	26	52	303
浪江町	7	13	172
川俣町	22	71	464
飯館村	1	1	16
合計	331	485	3,445

2. 被災市町村等への月別支援状況



市町村名	実施回数	従事歯科衛生士 延べ数	実施人数
7月	18	27	162
8月	24	27	185
9月	34	39	354
10月	36	49	390
11月	47	56	464
12月	49	95	534
1月	48	79	526
2月	44	72	622
3月	31	41	208
合計	331	485	3,445

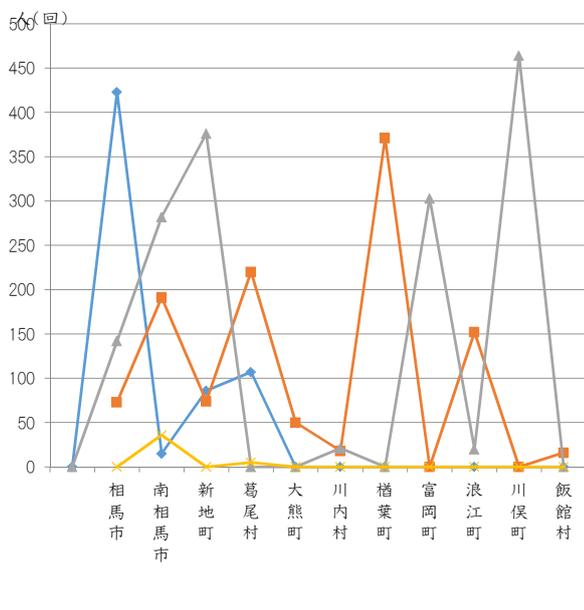
3. 被災市町村等への支援内容別実施状況(実施回数)



市町村名	①仮設住宅借上 個別訪問	②集会所等	③高齢者施設 障害者施設	④その他	合計
相馬市	59	8	11	0	78
南相馬市	7	17	33	1	58
新地町	18	11	27	0	56
葛尾村	36	20	0	1	57
大熊町	0	5	0	0	5
川内村	0	2	2	0	4
楢葉町	0	17	0	0	17
富岡町	0	0	26	0	26
浪江町	0	6	1	0	7
川俣町	0	0	22	0	22
飯館村	0	1	0	0	1
合計	120	87	122	2	331

- ①仮設住宅借上
- ②集会所等
- ③高齢者施設
- ④その他

4. 被災市町村等への支援内容別実施状況(実施人数)



市町村名	①仮設住宅借上 個別訪問	②集会所等	③高齢者施設 障害者施設	④その他	合計
相馬市	423	73	142	0	638
南相馬市	15	191	282	36	524
新地町	86	74	376	0	536
葛尾村	107	220	0	5	332
大熊町	0	50	0	0	50
川内村	0	18	21	0	39
楢葉町	0	371	0	0	371
富岡町	0	0	303	0	303
浪江町	0	152	20	0	172
川俣町	0	0	464	0	464
飯館村	0	16	0	0	16
合計	631	1,165	1,608	41	3,445

- ◆ ①仮設住宅借上
- ②集会所等
- ▲ ③高齢者施設
- × ④その他



日本歯科衛生士会助成事業 「被災地の通所介護施設における口腔ケア支援活動」



【 目 的 】

東日本大震災から1年以上が経過した今なお、多くの被災者の方々が不便な避難生活を強いられている。特に高齢者、要介護者においては、生活環境の変化やストレスなどからくる健康状態の悪化や全身の機能低下なども認められ特別養護老人ホームやサービス等の介護保険施設の利用者も増えてきている。

しかし、原子力発電所の事故の影響で、多くの介護職員の避難や離職によって、介護保険施設の職員不足が深刻な問題となっており、利用者への継続的な支援が難しくなっている。そこで、被災地の通所介護施設において、利用者及び施設職員に対して口腔ケア等についての支援を行うことで、高齢者及び要介護者の口腔衛生状態の維持・改善、口腔機能の向上を図ることを目的とする。

【対象施設及び対象者】

1. いわき地域及び相馬地域の通所介護施設 5施設
 - ①いわき地域 2施設
 - ・ゆったり館
 - ・寿楽庭
 - ②相馬地域 3施設
 - ・すみれサービスセンター
 - ・ひまわりサービスセンター
 - ・あすなろサービスセンター
2. 利用者及び施設職員

【実施期間】

平成24年9月から平成24年12月までを実施期間とし、各施設毎月1回の支援を行い3回で終了とする。

【実施内容】

1. 利用者への口腔ケア支援等
 - ・食事介助支援、口腔ケア支援、健口体操など
2. 施設職員に対する口腔ケアの実技指導、口腔ケア講習会など

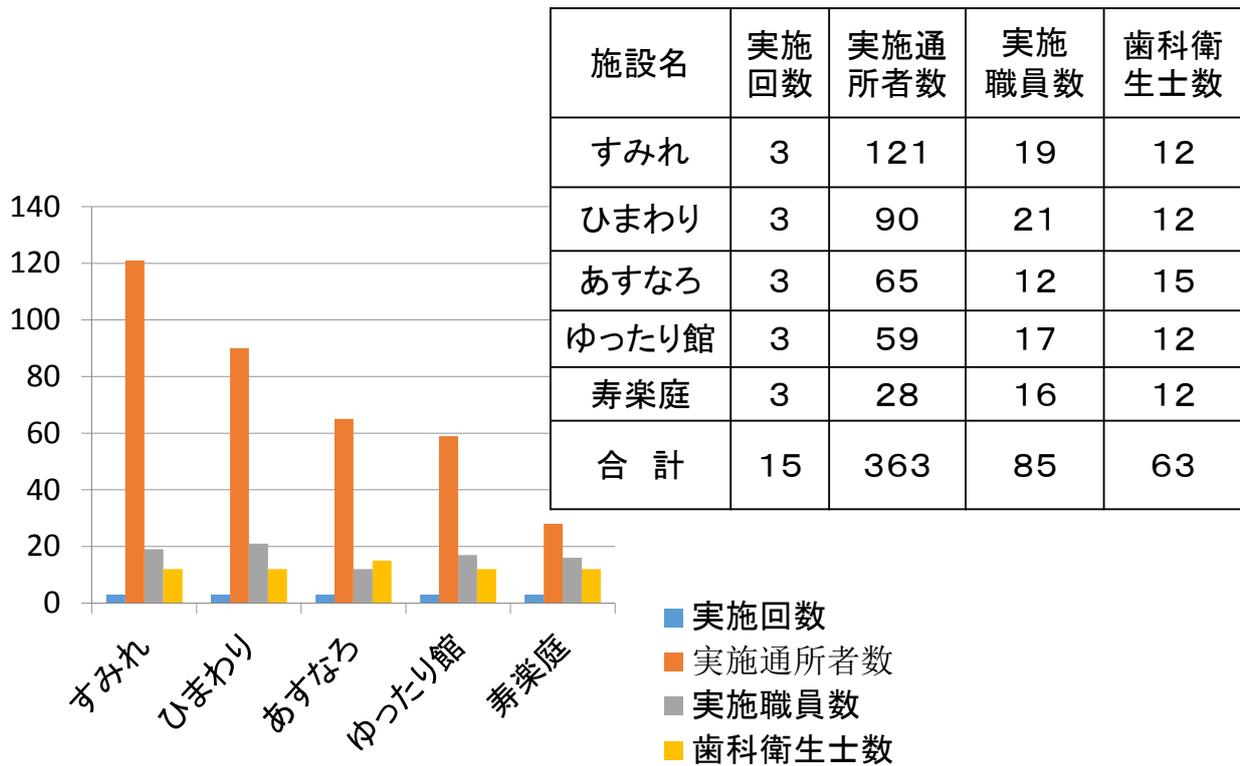
施設支援の目標

- 施設や家庭において、毎食後の口腔清掃習慣が定着する。
- 本人又は介助者が、一人ひとりの口の中の状態に合った歯磨き、ブクブクうがい、義歯の清掃ができるようにする。
- 施設利用者が、むせずに安全に楽しく食事ができるようにする。
- 施設職員の口腔保健への関心が高まり、積極的に口腔ケアや食事介助を行うようにする。

具体的な実施内容

- 利用者の現状把握(健康状態、食事・むせの状況、口腔ケア実施状況等)
- 口腔内の観察(歯科疾患、口腔清掃状態、義歯の状態等)
- 摂食・嚥下指導(食事時間に観察し、個別指導を行う)
- 口腔ケア指導(ブクブクうがい、口腔清掃、口腔機能訓練)

通所介護施設への支援状況



仮設住宅サロン



○飲み込みのしくみ

○舌体操



ペロ体操があるなんて、今日初めてわかったわ



テーブルから紙風船が落ちたら負けよ！！



歯ブラシだけでなく、歯間ブラシやデンタルフロスを使うと、きれいになるね！



誤嚥性肺炎って何？

○染め出し実習中



スポンジブラシ使ってみましょう



大きな歯の模型でわかりやすいでしょう



野外で健康相談



仮設個別訪問



○訪問前のスタッフ会議



高齢者施設



○唾液線マッサージ

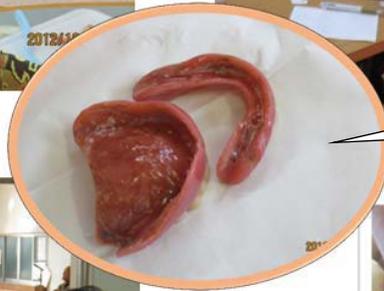


○おぶくぶくうがい



○「青い山脈」をパタカラで歌ってみましょう!

個別支援(口腔ケア)



義歯の
汚れ



舌苔



障害者施設



○口腔ケア前のラジオ体操
と健口体操



○摂食・嚥下指導



○舌の体操



○施設の介護職員に

今後の課題

【福島県受託事業「被災者口腔ケア支援事業」】

1. 事業の周知
2. 従事歯科衛生士の確保
3. ニーズの把握方法
4. 市町村及び保健福祉事務所との連携
5. 他職種間の連携

【日衛助成事業「被災地通所介護施設における口腔ケア支援活動」】

1. 家庭との協力連携
2. 従事歯科衛生士の確保
3. 職員のマンパワー
4. 利用者の自立支援
5. 施設職員との目的の共有

被災者歯科支援活動から見えてきた現状と課題

- 震災後、日常生活での機能低下や病状の悪化等により、介護の必要がある人が多くなった。
- 2年以上の避難生活の長期化に伴い、全身の機能低下による口腔機能の低下や、生活意欲の低下による清掃意欲の低下が見られる。

- 支援要望が多種多様になってきており、歯科衛生士としての専門的な知識・技術の提供が求められるため、レベルアップのための努力をしていくことが重要である。
- 市町村や医療、福祉（介護力）の機能が低下している中で、被災者と共にスタッフの支援を行っていくことも重要になってきている。
- 支援要望の増加に伴い潜在歯科衛生士を発掘し、マンパワーを確保していく必要がある。
- 関係機関、団体等と常に連携を図りながら、被災者支援に取り組むことが重要である。

決意

詩人 和合亮一

福島に風は吹く
福島に星は瞬く
福島に木は芽吹く
福島に花は咲く
福島に生きる
福島を生きる
福島を愛する
福島をあきらめない
福島を信ずる
福島を歩く
福島の名を呼ぶ
福島を誇りに思う
福島を子どもたちに手渡す
福島を抱きしめる
福島と共に涙を流す
福島に泣く
福島が泣く
福島と泣く
福島で泣く
福島は私です
福島は故郷です
福島は人生です
福島はあなたです
福島は父と母です
福島は子どもたちです
福島は青空です
福島は雲です
福島を守る
福島を取り戻す
福島を手の中に
福島を生きる
福島に生きる
福島を生きる
福島で生きる
福島を生きる
福島で生きる
福島を生きる



ご清聴ありがとうございました。